

うつ病の若い女性は心臓病で死亡するリスクが高い

心臓病のある若い女性はうつ病を発症する頻度が同年代の男性よりも高いことが知られている。しかし、うつ病のある若い女性では男性や高齢の女性に比べて心臓病を発症しやすいのかは不明である。そこで本研究では、うつ病のある 55 歳以下の女性では、男性や 56 歳以上の女性に比べて心臓病や死亡のリスクが高くなるかについて検討した。被験者は、心臓病の診断を受けているか、その疑いのある男女 3,237 人とし 2.9 年間(中央値)追跡した。全被験者に、冠動脈疾患の有無を評価する冠動脈造影検査を実施した。統計学的分析の結果、男性全体および高齢女性ではうつ病と心臓病のリスクとの関連は認められなかったが、55 歳以下の女性では、うつ病の評価尺度が 1 ポイント上がるごとに心臓病リスクが 7%増大した。死亡のリスクについても同様に、55 歳以下の女性ではうつ病の評価尺度が 1 ポイント上がるごとに死亡リスクが 7%増大した。その傾向は同年代の男性や高齢女性ではみられなかった。今回の結果から、うつ病の若い女性では、男性や高齢女性に比べて心臓病で死亡するリスクが高まることが示唆された。

出典 : Journal of the American Heart Association. 2014; 3(3)online June 18, 2014

DOI: 10.1161/ JAHA. 113.000741